

昭和 6 1 年 3 月招集

第 1 回館山市議会定例会会議録

館山市議会

目 次

◎第1号（3月1日）

開 会	1 0
議長の報告	1 0
議案の配付	1 0
会議録署名議員の指名	1 0
会期の決定	1 0
会議日程の決定	1 1
議案第1号～議案第31号（施政方針、提案理由の説明）	1 1
延 会	3 3
本日の会議に付した事件	3 3

◎第2号（3月7日）

開 議	3 7
行政一般通告質問	3 8
石井 武敏君の質問、当局の応答	3 8
榎本 春光君の質問、当局の応答	5 3
神田 守隆君の質問、当局の応答	6 7
安西 益男君の質問、当局の応答	7 8
飯田 義男君の質問、当局の応答	9 5
延 会	1 1 4
本日の会議に付した事件	1 1 5

◎第3号（3月8日）

開 議	1 1 9
行政一般通告質問	1 2 0
田沢 勝信君の質問、当局の応答	1 2 0
日下 君敏君の質問、当局の応答	1 3 4
散 会	1 5 2
本日の会議に付した事件	1 5 2

◎第4号(3月10日)

開 議	1 5 7
議案第8号～議案第25号	1 5 7
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 5 8
委員会付託	1 6 1
議案第26号～議案第31号	1 6 1
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 6 1
林 豊君の質疑、当局の応答	1 6 3
日下 君敏君の質疑、当局の応答	1 6 6
田沢 勝信君の質疑、当局の応答	1 6 8
委員会付託	1 7 3
請願第1号	1 7 3
説明	1 7 3
委員会付託	1 7 4
延 会	1 7 4
本日の会議に付した事件	1 7 4

◎第5号(3月11日)

開 議	1 7 8
議案第1号～議案第7号	1 7 8
石井 武敏君の質疑、当局の応答	1 7 8
田沢 勝信君の質疑、当局の応答	1 8 9
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 9 0
山中金治郎君の質疑、当局の応答	1 9 8
安西 益男君の質疑、当局の応答	2 0 4
日下 君敏君の質疑、当局の応答	2 0 7
林 豊君の質疑、当局の応答	2 0 8
予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	2 1 0
会議日程の変更	2 1 1
延 会	2 1 1

本日の会議に付した事件	2 1 1
-------------	-------

○第 6 号（3 月 2 2 日）

開 議	2 1 8
議案の配付	2 1 8
議案第 8 号～議案第 1 5 号、議案第 2 6 号	2 1 8
総務委員会委員長報告	2 1 8
採決	2 2 1
議案第 1 6 号～議案第 2 1 号、議案第 2 7 号～議案第 3 0 号	2 2 3
文教民生委員会委員長報告	2 2 3
採決	2 2 7
議案第 2 2 号～議案第 2 5 号、議案第 3 1 号	2 2 9
建設経済委員会委員長報告	2 2 9
採決	2 3 3
継続審査について（請願第 1 号）	2 3 3
議案第 1 号～議案第 7 号	2 3 4
予算審査特別委員会委員長報告	2 3 4
神田 守隆君の討論	2 4 0
採決	2 4 2
議案第 3 2 号	2 4 4
説明	2 4 4
委員会付託の省略	2 4 4
採決	2 4 4
議案第 3 3 号	2 4 5
説明	2 4 5
委員会付託の省略	2 4 5
採決	2 4 6
閉 会	2 4 6
本日の会議に付した事件	2 4 6

第 1 回 館山市議会定例会会議録
(第 1 号)

1 昭和61年3月1日(土曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 神田 守隆
3 番 山中金治郎
5 番 横溝 功
7 番 榎本 春光
9 番 福原 勤
11 番 飯田 義男
13 番 石井 昌治
15 番 渡辺 昭夫
17 番 近藤 好雄
20 番 石井 武敏
22 番 林 豊
24 番 流山源次郎
26 番 石井 正
28 番 安澤 徳順

2 番 田沢 勝信
4 番 小宮 利夫
6 番 生稻 陸
8 番 日下 君敏
10 番 川名 正二
12 番 石井 謀
14 番 伊藤幸太郎
16 番 松下 正己
19 番 黒川 平治
21 番 吉田勇治郎
23 番 伊賀 多朗
25 番 五十嵐 昇
27 番 安西 益男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 山田 俊康
総務部長 川畑喜代志
水道課長 石井 敏夫
教育委員会 福原 修
教育委員会 佐藤 輝雄
選挙管理委員会 橋本 巖利
監査事務局長 池田 六郎
農業委員会 池田 六郎

1 出席事務局職員

事務局 局長 庄司 利光
書記 鈴木 哲
書記 熊井 成和

助役 小倉 澄男
市長公室長 齊藤 武男
経済部長 吉岡 政雄
教育委員会 高橋 弘之
教育委員会 加藤 利
選挙管理委員会 鈴木 重司
監査委員 斎藤 明
農業委員会 斎藤 明

事務局補佐 兵藤 恭一
書記 土橋 康彦

1 議事日程（第1号）

昭和61年3月1日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第 1号 昭和61年度館山市一般会計予算

議案第 2号 昭和61年度館山市国民健康保険特別会計
予算

議案第 3号 昭和61年度館山市老人保健特別会計予算

議案第 4号 昭和61年度館山市ユースホステル特別会
計予算

議案第 5号 昭和61年度館山市学童災害共済事業特別
会計予算

議案第 6号 昭和61年度館山市水道事業特別会計予算

議案第 7号 昭和61年度館山市国民宿舎事業特別会計
予算

議案第 8号 館山市附属機関設置条例の一部を改正する
条例の制定について

議案第 9号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用
弁償に関する条例の一部を改正する条例の
制定について

議案第10号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に
関する条例の一部を改正する条例の制定に
ついて

議案第11号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関
する条例の一部を改正する条例の制定につ
いて

議案第12号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例
の制定について

議案第13号 館山市特別会計条例の一部を改正する条例
の制定について

日程第 4

- 議案第 1 4 号 館山市行政財産使用料条例の制定について
- 議案第 1 5 号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 6 号 館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 7 号 館山市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 8 号 館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 9 号 館山市身体障害者結婚奨励金支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 0 号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 1 号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 2 号 館山市農漁業後継者結婚奨励金支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 3 号 館山市西長田農道、佐野農道及び神余頭首工災害復旧事業分担金徴収条例の制定について
- 議案第 2 4 号 館山市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 5 号 市道路線の認定及び廃止について
- 議案第 2 6 号 昭和 6 0 年度館山市一般会計補正予算（第 5 号）
- 議案第 2 7 号 昭和 6 0 年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 2 8 号 昭和 6 0 年度館山市老人保健特別会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 2 9 号 昭和 6 0 年度館山市と畜場特別会計補正予算（第 2 号）

議案第 30 号 昭和 60 年度館山市学童災害共済事業特別
会計補正予算（第 1 号）

議案第 31 号 昭和 60 年度館山市水道事業特別会計補正
予算（第 2 号）

開 会 午前 10 時 03 分

○議長（流山源次郎君） 本日の出席議員数 26 名、これより昭和 61
年第 1 回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（流山源次郎君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第 12
1 条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告があ
りましたので、御了承願います。

なお、監査委員から 12 月乃至 2 月実施の監査結果が報告されてお
ります。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（流山源次郎君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付が
ありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（流山源次郎君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

4 番議員小宮利夫君、25 番議員五十嵐 昇君、以上両君を指名いた
します。

会期の決定

○議長（流山源次郎君） 日程第 2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本 3 月 1 日から 3 月 2

2日までの22日間ということであります。

お諮りいたします。会期を22日間と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって、会期は3月1日から3月22日までの22日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長(流山源次郎君) 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(流山源次郎君) 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長(流山源次郎君) 日程第4、議案第1号乃至議案第31号を一括して議題といたします。

施政方針並びに提案理由の説明

○議長(流山源次郎君) これより昭和61年度施政方針並びに各議案に対する提案理由の説明を求めます。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 本日、ここに3月定例市議会を招集し、昭和61年度一般会計及び特別会計の予算案並びに諸議案につきまして御審議をお願いすることになりましたが、開会に当たり新年度の市政運営に関する所信を申し述べたいと存じます。

最近の我が国経済は、御承知のと通りの急激な円高問題、その背景にある膨大な国際収支の不均衡、深刻な貿易摩擦問題を抱えており、先行き楽観を許されない情勢にございます。

また、長年の公債依存により構造的に逼迫した国の財政は、ますます硬直化の度合いを深めており、一方、地方においても行政需要の増大する中で、前年度に引き続き国庫補助負担率の削減を受ける等、さらに厳しい財政運営を強いられております。

このような状況下におきまして、国等の動向を踏まえながら、弾力的な市政運営に努めるとともに、市民生活を優先する先見的な施策の選択により、市民一人一人を真に尊重した総合行政を展開し、より豊かなふるさと館山の一層の発展のために最善を尽くしたいと思っております。

さて、本年は、長い間の念願であった東京湾横断道路の建設がいよいよ着手されることとなりました。首都圏に新しい広がりをもたらす横断道路は、首都機能の一翼を担い県土の均衡ある発展を目指す千葉新産業三角構想実現の大きな核となるものであり、「房総新時代への出発」をスローガンに新たな5カ年計画をスタートさせる我が郷土千葉県にとってはもちろん、南房総にとりましても、まさに躍動期の幕開けを告げるものとする次第でございます。

さらに本市におきましても、昨年12月に議決をいただきました21世紀を展望した館山市基本構想に基づき、最初の5カ年計画がスタートする重要な年でございます。本市の恵まれた資源を生かし、横断道路の受け皿としての基礎づくりを積極的に進めるとともに、総合的な海洋性レクリエーションゾーンの形成をイメージしつつ、産業の活性化を進める「地域振興対策」、健康と生きがいの創出を柱に人生80年時代に対応する「高齢化社会総合対策」、そして人々の生活志向に沿ったまちづくりと精神的な豊かさを重視した「文化行政」、これらの推進を基本的な課題としながら、新しい将来像「活力ある文化福祉都市」の実現に向け、南房総の中核都市として力強い第一歩を踏み出したいと存じます。

これらのことを念頭に、昭和61年度の予算につきましては、館山駅周辺の市街地整備、防災行政無線の整備、河川等の浄化対策、道路や公園の整備等を重点に、市民生活の向上に努めるべく、健全財政の堅持を

図りながら編成いたしました。

また、昨年度から特に推進本部体制を組織し、進めてまいりました地域振興対策、高齢化社会総合対策及び文化行政の推進につきましては、具体的な取り組みの一步として、本年はそれぞれ「レジャースポーツクラブ会員制度」、「市民健康まつり」、「花のまち館山づくり運動」等のテーマプロジェクトを企画し、実施してまいります。

以下、主要施策の概要につきまして順次御説明いたします。

第1は、快適でゆとりある生活環境都市づくりでございます。

道路、公園等の地域社会の基礎となります都市施設の整備と相まって、恵まれた自然環境が保全され、安全性が確保されたまちづくりを進め、人間と自然が調和した住みよい豊かな生活環境の創出に努めてまいり所存でございます。

まず、本市の最優先施策として取り組んでおります館山駅周辺の市街地整備事業についてでございますが、市街地改造の事業化に向けて、地元との合意形成をさらに深めるための活動を積極的に進めているところでございます。

東口地区の市街地再開発事業につきましては、60年度に実施しましたB調査を踏まえ、事業計画案の策定等を進めるべく、準備組合の設立を促進してまいります。また、西口地区の土地区画整理事業につきましては、施行区域の都市計画決定及び事業認可を図るとともに、減歩率を緩和するための用地先行取得等を推進してまいります。

次に、道路交通網の整備につきましては、引き続き国道127号館山バイパスの建設等を促進し、広域的な幹線道路網の確立を目指すとともに、八幡高井線等の都市計画街路事業、生活に密着した市道の改良、舗装及び橋梁整備事業を実施し、利便性、安全性の向上を図ってまいります。

次に、市民生活にうるおいとやすらぎを与える憩いの場として、また、本市観光の拠点として年次的に整備を進めている城山公園につきましては、梅園等の造成を進め、より親しまれる総合公園として整備してまいります。また、すでに部分的にオープンしております県立館山運動公園につきましては、本年度ソフトボール場及びテニスコートの増設等が予

定されておりますが、計画されている体育館建設等の促進に努め早期完成を図ってまいります。

次に、上水道の整備につきましては、未給水地域の解消を目指し、水道拡張事業の推進を図るとともに、作名浄水場配水池の増設等、既存施設の整備を図り、水の安定供給の確保に努めてまいります。

下水道の整備につきましては、公共下水道事業の前段として、市街地における雨水を排除し局地浸水に対処するため、引き続き北条中央下水路、南町排水路を整備するほか、新たに柏崎排水路等の整備に努めてまいります。

次に、大規模地震対策を中心に地域防災計画に基づく整備を進めております防災対策につきましては、60年度から3カ年継続事業として実施しております防災行政無線整備事業を推進し、情報通信のネットワーク化を目指すとともに、自主防災組織の育成強化及び防災資機材の整備を図ります。

次に、本市の貴重な資源である河川、海域等公共用水域の総合的な浄化対策ですが、本年度は、汐入川へ流入する排水路に浄化施設を設置し、汚濁物質の減量化を図るとともに、汚濁原因の一つである家庭雑排水の浄化対策として、モデル戸別処理施設を設置し、その適合性の調査研究を進めてまいります。また、家庭でできる浄化対策を推進するため、汐入川流域の500世帯に台所用三角コーナー及びろ紙を提供し、その使用効果を測定するとともに、定着化を促進するなど水質保全に関するPRを一層充実して浄化思想の啓蒙に努めてまいります。

以上の施策を推進するほか、特に本年度からは温暖な気候風土を生かしたうるおいのあるまちづくりの一環として、市民の参画の下に「花のまち館山づくり運動」を展開し、四季折々の花にあふれた美しい景観の創出に努め、親しみと愛着と誇りのもてるふるさとづくりを推進してまいります。

次に、第2は、温かい心のかよう健康福祉都市づくりでございます。

活力ある地域社会の形成は、幼児からお年寄りまで市民一人一人が等しく、生きがいのある幸せで健康な生活をおくれることを基本として実現するものであります。

一方、これからの福祉社会は、自立と自助及び扶助の3つの原則が効率よく組み合わさって成り立っていくものであります。

従いまして、健康の保持増進に関します施策につきましては、「自分の健康は自分でつくる」という自らの積極的な健康管理を基調とした健康づくり施策を重点として展開してまいらなければならないと考えております。

また、福祉施策につきましては、不幸にして心身にハンディキャップを持つに至った方達に対する施設福祉の充実はもちろんのことではありますが、加えまして、これらの方々が地域社会の中で家族とともに人間としての尊厳をもって幸せに生きていけるように、援助していく在宅福祉施策をさらに充実し展開していくことが必要であります。

これらを踏まえまして、まず健康な生活を目指す保健、医療に関する施策といたしましては、従来から実施しております総合検診をはじめとする各種の検診事業の充実と保健センターを拠点とする各種保健、健康学習の充実を図るとともに、特に本年度は健康思想の普及、啓蒙、さらには定着化を目指し、昨年度完成いたしましたコミュニティ広場をメイン会場とし、10月10日の体育の日を中心として軽スポーツ大会、健康相談、食生活改善教室の開催等健康に関します総合的イベントとしての「市民健康まつり」を実施し、健康の保持増進に努めてまいります。

また、健康の基本であります体力づくり、健康づくりに関しましては、体育館、プール等を主とする学校施設の開放、各種スポーツ、レクリエーション教室の開催、スポーツ団体の育成等に努めるほか、第7回を迎える館山若潮マラソンについては、フルマラソンコースを日本陸上競技連盟の公認コースとして実施してまいりたく考えております。

次に、市民福祉の充実に関します施策でございますが、さきにも申し上げましたが、人は皆、住みなれた家庭や地域社会の中で生活してこそ幸せに暮らしていけるものであります。

そのためには、自立、自助の精神を基本とし、社会参加の活動機会の確保、提供が適切に行われることが一層重要なことと考えております。

このため、社会福祉協議会を中心として各地域ごとにボランティアグループを育成し、地域ぐるみの福祉活動を推進するとともに、各種在宅

福祉サービスを充実してまいります。

また、人口の高齢化が進む中でねたきり老人等が増加していく傾向がありますが、これらの方々の訪問指導や介護者の負担を軽減するためショートステイ事業を実施し、さらには心身障害児の方々に対します機能回復訓練の充実、身体障害者福祉会をはじめとする各種福祉団体への助成を行い、自立、自助を側面から援助してまいる所存でございます。

次に、第3は、地域の個性が生きる人間性豊かな文化教育都市づくりでございます。

教育の基本となります学校教育につきましては、人格の形成と自主的精神の涵養を重視し、児童生徒が心身ともに健康で、個性と能力に応じた教育を受けられるように教育条件の整備充実に努めてまいりました。

本年度は、船形小学校講堂の防音改築工事及び館野小学校屋内運動場の改築工事等、児童生徒が伸び伸びと学校生活を送れるよう環境整備を進めてまいります。

また、引き続き英国人教師を招聘し国際理解と英語教育の向上を図るとともに、学習分析システムを活用したきめ細かい教育を目指してまいります。

次に、社会教育についてでございますが、人生80年時代を迎え、また、経済社会の進展による余暇時間の増大や知識水準の向上により、自己実現の機会を求める市民のニーズはますます高まっております。

このため、従来から進めております各種学級、講座の充実に努めるとともに、社会教育団体の育成に努め、施設相互の連携を図りながら生涯教育活動の高揚を図ってまいります。また、本年度は、図書館書庫を増築し読書需要に対応するよう蔵書の充実を図るとともに、移動図書館を引き続いて実施する等、利用しやすい図書館を目指してまいります。

文化の振興につきましては、人々の心にゆとりやうるおいをもたらす優れた文化の日常化をテーマに、引き続き造形作品の設置、音楽鑑賞機会の提供等の事業を推進するとともに、博物館活動を通して文化財の保護活用に努め、地域文化の振興に努めてまいります。

次に、第4は、創造力と活力に満ちた産業都市づくりでございます。

活発な経済活動は、都市に活力をもたらす市民生活を支える基礎であ

りますので、各種産業の基盤整備、経営の近代化促進等、地域に根ざした多様な産業の振興に努めてまいります。

農業につきましては、引き続き水田利用再編対策及び農道、排水路、は場整備等の生産基盤整備を重点に推進するとともに、本年度は、農産物流通の改善を図るため、西岬地区に花き集出荷場を建設してまいります。

水産業につきましては、漁港及び関連施設の整備を図るとともに、魚介類の種苗放流、魚礁の設置等を進め「つくり、育てる漁業」を一層推進してまいります。また、水産物の流通改善を図るため、本年度は、製氷、貯氷施設を船形に設置してまいる所存です。

次に、商業につきましては、外部資本による大型店の進出や購買力の市外流出等の問題を抱えており、近年非常に厳しい環境にございます。このため、市街地再開発事業をはじめ、地域にふさわしい総合的なまちづくり事業を推進する中で、商店街の近代化を図るとともに、商工会議所等関係団体との連携を密にしながら、商業の活性化に努めてまいる所存です。また、本年度は、大型店進出対策として新規に共通商品券の発行に対する事業補助、さらには既存中小商業者への経営の合理化資金に対する利子補給を実施してまいります。

観光につきましては、南房総における経済活性化の重点課題として振興に努めており、地域の特性を生かした施設の整備充実を図り、魅力を創出するとともに、広域的宣伝活動を展開しているところでございます。

本年度は、総合計画の中に示された海洋性リゾートタウンを目指すに当たり、漁業関係者の理解を深めつつ基礎的な計画の策定に取り組むとともに、地域振興対策の一環として、市域の観光、レジャー施設、スポーツ施設と連携した「レジャースポーツ会員制度」の発足について検討し、実施に移してまいりたいと考えております。

また、四季を通しての観光催事を関係団体等と協力し、充実強化しながら南房総館山市を宣伝し、地域の振興に寄与してまいりたいと存じます。

以上の施策を中心といたしまして昭和61年度館山市一般会計予算の編成を行いました結果、歳入歳出予算の総額は94億2727万円で、

前年度当初予算に対し7030万円、0.8%の増となっております。

まず、歳入予算の内容についてでございますが、過去の収入実績、国、県の制度改正の動向、社会経済情勢等に基づきまして、適切な財源確保に努めるとともに、特に新規財源の捕捉に配慮し算定いたしました結果、歳入の柱であります市税では61年度税制改正、経済情勢、また、企業進出等に伴う影響等を勘案し、課税の適正化等を図ることにより49億4164万余円を計上、前年度対比5億3496万余円、12.1%の増となり、その構成比は52.4%となっております。このほか、地方譲与税1億2080万円、娯楽施設利用税交付金6671万円、自動車取得税交付金1億279万円、国有提供施設等所在市町村助成交付金6354万余円、交通安全対策特別交付金1000万円で、交付金につきましては、現在までの実績から前年度当初予算に比べ若干下回る額を見込み、計上いたしました。地方交付税では、国税3税の32%相当額から交付税特別会計借入金等利子充当分を控除した地方に交付される交付総額は前年度に比べその伸びは低いものの4.0%の増となりましたが、個々の団体ごとに行政需要等条件が異なることなどから、その算定に当たり、基礎となる基準財政需要額に大きな伸びが期待できない反面、基準財政収入額におきまして、算出根拠となる税等の増収が見込まれること等を考慮し積算した結果、特別交付税5000万円を含め12億3000万円を計上、前年度に比べ1億500万円、7.9%の減、構成比は13.1%となっております。

分担金及び負担金につきましては、那古、館野両地区におけるほ場整備事業に係る農道整備事業分担金5040万円等、総額で1億7236万余円、使用料及び手数料3億2376万余円、国庫支出金は8億7381万余円で、5157万余円、5.6%の減、構成比は9.3%、県支出金は5億2496万余円で7132万余円、15.7%の増、構成比は5.6%となっておりますが、国、県支出金につきましては、行財政改革の影響、災害復旧等事業費を除く公共事業関係費の抑制措置等を考慮するとともに、特に60年度に引き続き実施が見込まれる国庫補助負担率の引き下げ及び一般財源化に伴う補助額削減の状況につきましては、関係機関の予算措置の状況等密接な連絡、情報の収集を行い計上い

たしました。財産収入は6082万余円、寄附金は1295万余円を予定計上し、繰入金は、老人保健特別会計で前年度一般会計からの繰出金のうち60年度分精算に伴う返還金として見込める額5802万余円をそれぞれ計上いたしました。また、60年度予想される余剰金から繰越金で5000万円、諸収入2億466万余円、市債につきましては、前年度に続く国庫補助負担率の引き下げによる地方負担の増加額1兆1700億円についての財源措置といたしまして、前年度を大幅に上回る9300億円の建設地方債増発が予定されておりますが、将来の大型事業の実施に伴う市債への依存による地方債残高の増高と公債費の抑制等財政構造の弾力化に意を用い、極力政府関係資金による市債を予定いたしました。財源措置として増発される臨時財政特例債を含め6億1040万円を計上、前年度対比2億330万円、25.0%の減、構成比は6.5%といたしました。

次に、歳出予算につきましては、国庫補助負担率の引き下げ等、さらに厳しい財政環境が予想される中で、一般行政的経費におきまして当然増を除き3年連続で前年度対比マイナス5%以上とする等、一層の事務事業の見直しと、市民生活を優先する施策の選択に配慮し、時代に即応し簡素にして効率的な行財政実現に向け、限られた財源の重点的かつ効率的配分に意を用いまして編成いたしました。

まず、性質別の内容についてでございますが、人件費28億4105万余円、構成比30.1%、物件費10億1362万余円、構成比10.7%、扶助費9億9551万余円、構成比10.6%、補助費等8億1318万余円、構成比8.6%、普通建設事業費21億6952万余円で、1億4064万余円の減、構成比23.0%、公債費12億1822万余円で、3006万余円の減、構成比12.9%、その他3億7613万余円となっております。

以下、目的別内容につきまして各款別にその概要を申し上げます。

第1款議会費は、議会運営に要する経費といたしまして1億7585万余円、前年度対比84万余円の増、構成比は1.9%となっております。

第2款総務費は、一般管理費、文書広報費、企画費、防災、交通関係

費、徴税費と61年度にそれぞれ予定される参議院議員選挙、市長選挙の選挙費等総額で11億7521万余円、前年度対比2億2416万余円、16.0%の減、構成比は12.5%となっております。減額の主な理由といたしましては、3カ年の継続事業により整備を進めております防災行政無線整備事業が第2年度目に入り、事業費が減少したこと及びコミュニティ活動の中核として利活用されておりますコミュニティセンター西側の造成事業関連経費の減によるものでございます。

第3款民生費は、障害を持つ方々の生活指導及び自立助長を図るための福祉作業所運営費、ボランティア活動をはじめとする地域ぐるみの福祉活動費、その他障害者の方々に対する福祉対策事業費、高齢化社会に対応するための老人福祉対策といたしまして、ねたきり老人の訪問指導や介護者の負担軽減への配慮等老人福祉事業費、乳幼児保育対策等児童福祉事業費及び生活保護費で総額16億5381万余円、前年度対比1億4042万余円、9.3%の増、構成比は17.5%となっております。増額の主な理由といたしましては、本年度安房郡市広域市町村圏事務組合で神戸地区に建設を予定しております精神薄弱者更生施設の建設費等に係る負担金、医療給付の増加に伴う老人保健特別会計への繰出金、また、生活保護費のうち医療扶助費がそれぞれ増加したことによるものでございます。

第4款衛生費は、河川及び家庭雑排水等の浄化対策といたしまして、排水路に浄化施設及び戸別処理施設を設置し、汚濁物質の減量化と汚濁原因の調査等を行い、あわせて浄化思想の啓蒙を図るための経費、衛生センター電気料金の低減化を図るためのインバーター設置工事費をはじめ、最終処分場における作業の効率化を推進するためパワーショベルの購入及び場内道路舗装工事等の施設整備関連経費等を計上し、清掃施設の整備充実を図ろうとするものでございます。

また、健康の保持増進対策といたしまして、保健、医療に関しましては、総合検診のほか、各種の健康診査及び結核、がんの検診、予防接種等一層の充実と特に健康づくり推進事業といたしまして、健康思想の普及、啓蒙のため講演会の開催、各種保健活動の推進、市民健康まつり等の事業費を計上し、また、国の繰出基準等に基づく水道事業特別会計及

び三芳水道企業団の水源開発及び濁水対策等に対する経費を含む繰出金、負担金、その他し尿及びじん芥処理施設の維持管理費等で、総額 9 億 3 206 万余円、前年度対比 3428 万余円、3.8%の増、構成比は 9.9%となっております。増額の主な理由といたしましては、衛生センターへのインバーター設置費及び水道費における負担金の増によるものでございます。

第5款労働費は、勤労者厚生対策預託金、各種勤労団体への補助金等、勤労者の福利厚生を増進を図るための経費といたしまして、789 万余円を計上いたしました。

第6款農林水産業費は、農業費といたしまして、農用地の有効利用、経営規模の拡大、農産物の流通改善等農業施策を推進するため、花き流通改善施設として集出荷場の建設、ほ場整備事業、小規模土地改良事業等投資的経費に対しての補助金、ほ場整備地区内の幹線農道の整備等生産基盤の整備のための経費のほか、農業用施設等補修用材料費、育成牧場関係経費等 2 億 8580 万円を計上いたしました。水産業費といたしまして、水産物の安定供給及び流通改善、水産資源の開発を図るため、水産物食用利用高度化施設として製氷、貯氷施設の建設、漁船、漁業近代化施設整備事業等について各事業主体に対する補助金、つくり育てる漁業を推進するため魚介類の種苗放流及び魚礁の設置、また、下原香地区漁港、栄の浦漁港、波左間漁港、川名漁港の市管理漁港の整備、船形漁港及び富崎漁港の県営漁港建設事業負担金等、水産振興対策の基盤となる漁港施設の整備充実を図るための経費等で 3 億 2731 万円を計上いたしました。農林水産業費総額で 6 億 1593 万余円、前年度対比 7950 万余円、14.8%の増、構成比は 6.5%となっております。増額の主な理由といたしましては、下原香地区漁港及び洲崎漁港の局部改良工事の完了による減額を含め製氷、貯氷施設の建設費の増によるものでございます。

第7款商工費は、商工業振興費といたしまして、地域商業の活性化及び小売業等の振興対策といたしまして共通商品券販売事業、商店街共同活動計画及び環境整備計画策定のため、商店街コミュニティモデル事業等商工業の推進と、中小企業の振興を図るための各種補助金、中小企業

融資預託金等を計上いたしました。また、観光費といたしまして、観光振興と地域活性化のため、県の地域振興プロジェクト促進事業の補助を受け、海洋性リゾートタウン基本構想の策定を実施するほか、花のまち館山づくり運動の一環といたしまして各種の植栽事業、また、観光行事への補助金、施設の整備充実のための経費、海水浴場の安全対策関係経費等を計上いたしまして、商工費総額1億3785万余円、前年度対比5370万余円、28.0%の減、構成比は1.5%となっております。減額の主な理由といたしましては、西岬見物地内に設置をいたしました館山スポーツの里づくりに係る補助金の減によるものでございます。

第8款土木費は、住みよい豊かな生活環境と地域社会の基礎である都市施設の整備を図るため、館山駅周辺の市街地整備事業の推進をはじめ、バイパス建設の促進等幹線道路網の整備のほか、市道の新設改良及び維持補修費、河川、橋梁及び港湾整備費、館山駅東口地区市街地再開発に伴う事業計画案の策定等の経費に対する補助金、館山駅西口地区土地区画整理事業に係る市街地整備用地等購入費、都市計画街路整備のための工事費及び街路用地購入費、都市下水路工事費及び排水路整備に係る負担金、また、市民の憩いの場と同時に観光の拠点でもある城山公園の梅園、広場等の整備費、館山運動公園整備に係る負担金等総額で14億212万余円、前年度対比5264万余円、3.6%の減、構成比は14.9%となっております。減額の主な理由といたしましては、5カ年で整備を進めてまいりました八幡都市下水路、館山大橋補修工事の完成と館山運動公園整備で県単工事に係る事業費の減少に伴う負担金の減によるものでございます。

第9款消防費は、年次的に整備を進めております防火水槽の建設及び修繕費、消防自動車購入費等消防施設の整備充実に努めるとともに、消防団関係経費、広域消防に係る負担金等で総額4億378万余円、前年度対比2624万余円、7.0%の増、構成比は4.3%となっております。

第10款教育費は、教育環境向上のため教育諸施設の整備充実に努めてまいりましたが、本年度は、小学校費といたしまして、船形小学校講堂の防音改築事業費及び館野小学校屋内運動場の改築事業費のほか、中

学校費を含め各学校施設の改修等維持管理に要する経費を、幼稚園費といたしましては、60年度に引き続き館山幼稚園通園用道路の整備を実施することに伴う道路用地購入費等をそれぞれ計上いたしました。

社会教育費といたしまして、公民館をはじめ諸施設の有効利用を推進するため、内容の充実に配意し生涯教育講座、各種文化教養講座の開催、また、蔵書の充実を図り読書需要の対応をさらに拡大するため、図書館書庫の増築、老朽化した市民センター舞台調光設備の改修を実施し、利用者の利便と増加に努めるほか、博物館展示資料等購入及び各施設の維持管理等の経費を、保健体育費といたしまして、健康の基本となる体力、健康づくりを目標に各種スポーツの振興に努めるため、年々参加者の増加が期待される館山若潮マラソン大会の運営費をはじめ社会体育の振興と各体育施設の改修整備を含めその維持管理に要する経費をそれぞれ計上いたしまして、教育費総額16億1291万余円、前年度対比1億3463万余円、9.1%の増、構成比は17.1%となっております。増額の主な理由といたしましては、那古幼稚園の完成によります建設費の減を含め船形及び館野小学校関係建設費、図書館書庫の増築費、市民センターの施設整備費のほか給食組合分担金等の増によるものでございます。

第11款災害復旧費は、60年に被災いたしました農業用施設の災害復旧工事費及び補修用材料費等で1.920万余円、前年度対比1.420万余円の増となっております。

第12款公債費は、12億1865万余円で前年度対比2.982万余円の減、構成比は12.9%となっております。減額となりましたのは、前年度12月補正でお願いいたしました一部繰上償還を実施したことによるものでございます。

第13款諸支出金は、5.192万余円、第14款予備費は、前年度同額の2.000万円をそれぞれ計上いたしました。

以上、一般会計当初予算に計上いたしました内容の概要につきまして御説明申し上げましたが、さらに厳しい財政環境が予想される状況の中で、今後の補正財源といたしまして、特別交付税及び前年度繰越金等がございますが、これらにつきましては事業の進展に伴う必要経費及び当

初予測のできなかった事務事業、また、職員の給与改定が実施された場合等、今後の追加需要に対する財源に充てたいと考えております。

次に、継続費といたしまして、前年度より3カ年計画で実施いたしております防災行政無線整備事業費について、また、債務負担行為といたしまして、館山市農業協同組合が、農道整備資金として農林漁業金融公庫から融資を受けた借入金の償還に対する補助につきましてそれぞれ設定いたしました。

地方債といたしまして、防災行政無線整備事業をはじめ13件を予定し、一時借入金につきましては、歳計現金の一時不足に備えまして最高限度額を10億円と定めることといたしました。

以上が議案第1号の概要でございますが、次に議案第2号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第2号昭和61年度館山市国民健康保険特別会計予算でございますが、歳出におきまして、制度の改正によりまして老人保健拠出金の減少が見込まれるものの診療費の増高が予想されること等を考慮するとともに、歳入におきましては、財政調整基金の繰り入れを行いその活用をいたしまして、歳入歳出それぞれ26億5976万余円を計上いたしました。なお、国民健康保険税につきましては、本算定まで流動的な要素もございますので、今後十分検討を加えてまいりたいと考えております。

次に、議案第3号昭和61年度館山市老人保健特別会計予算でございますが、老人医療の受診率が増高傾向にあること等60年度の実績を勘案し、一般会計からの繰入金1億2518万余円を含めまして歳入歳出それぞれ25億6907万余円を計上いたしました。

次に、議案第4号昭和61年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、運営経費といたしまして、歳入歳出それぞれ2280万余円を計上いたしました。

次に、議案第5号昭和61年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ216万円を計上いたしました。

次に、議案第6号昭和61年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、水道料金、手数料等で5億892

5 万余円、これに対し収益的支出といたしまして、営業費用、企業債利息等で5 億7 7 4 8 万余円、また、資本的収入といたしまして、一般会計からの出資金及び加入者分担金等で7 6 8 3 万余円、資本的支出といたしまして、改良工事費等建設改良費及び企業債償還金等で1 億8 0 2 0 万円をそれぞれ計上いたしました。本年度の主な事業といたしましては、水の安定供給を図るため、作名浄水場配水池の増設等でございます。

次に、議案第7号昭和61年度館山市国民宿舎事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、宿泊料金等で2 億1 2 5 3 万余円、収益的支出といたしまして、宿舎経営費等営業費用及び企業債利息等で2 億1 2 5 3 万余円、資本的収入といたしまして、他会計等借入金で1 7 1 9 万余円、資本的支出といたしまして、企業債償還金で1 7 1 9 万余円をそれぞれ計上いたしました。

以上、各会計の昭和61年度予算の概要につきまして御説明申し上げましたが、一般会計及び特別会計予算総額は1 5 6 億6 8 4 9 万余円でございます。

次に、議案第8号館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、館山市中小企業融資運営委員会につきまして、委員の構成から千葉県信用保証協会長の職にある者を削り、組織の簡素合理化を図るため、委員の定数15人以内を10人以内に減員しようとするものでございます。

次に、議案第9号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、市議会議員に関する報酬額につきましては、現行の報酬額は昨年4月に改定したもので、その後の県内各市との均衡、諸物価の上昇、さらに過去における報酬額改定の経緯等を考慮いたしまして、去る1月23日に館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、同審議会会長より1月28日付をもって改定の額及び改定の時期につきまして、いずれも適当である旨の答申を得ましたので、この答申を尊重いたしまして、本年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

なお、各種行政委員会の委員及びその他の特別職の報酬につきましても、昨年4月に改定したものでございますが、その後の県内各市との均

衡、諸物価の上昇等を考慮いたしまして、本年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第10号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現行の給料は昭和59年10月に改定されたもので、その後、一般職の給与改定につきましては、昭和59年は、同年12月定例市議会で議決、4月にさかのぼり実施され、昭和60年は、同年12月定例市議会で議決され、7月にさかのぼり実施と2度行われており、また、諸物価の上昇、県内各市との均衡等を考慮いたしまして、特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、適当である旨の答申を得ましたので、この給料改定を本年4月1日から実施しようとするものでございます。

次に、議案第11号館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、教育長の給料につきましても、今回、収入役の給料と同額に改定しようとするものでございます。

次に、議案第12号館山市職員給与条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、行政改革により給与等の見直しを行い、特殊勤務手当のうち、窓口業務手当及び交通指導業務手当を廃止し、また、自動車等運転業務手当については、支給対象者のうち、臨時に従事した職員に対しては、市長の定める職員のみに支給するため改正しようとするものでございます。

次に、議案第13号館山市特別会計条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、これは、昭和60年5月1日館山市と畜場の廃止に伴い、館山市と畜場特別会計を昭和60年度をもって廃止するため改正しようとするものでございます。

次に、議案第14号館山市行政財産使用料条例の制定についてでございますが、御案内のように日本電信電話公社が60年4月1日に日本電信電話株式会社に組織変更されました。この日本電信電話株式会社所有の電柱が80本程度行政財産を占用しておりますので、公社の民営化に伴い、今回、館山市行政財産使用料条例を制定し、行政財産の目的外使用について地方自治法第225条の規定により、使用料の徴収を実施し

ようとするものでございます。

次に、議案第15号館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、昨年3月、地方税法等の一部を改正する法律案が国会において可決、3月30日公布、昭和61年4月及び62年4月から施行されることとなりましたので、館山市市税条例もこの法律にあわせて改正しようとするものでございます。

改正の内容でございますが、法人市民税の納付書様式が統一されたことに伴う改正並びに配当所得に係る課税の特例、優良住宅地の造成等のために土地を譲渡した場合の課税の特例及び特定市街化区域農地等を譲渡した場合の課税の特例の改正でございます。なお、詳細につきましては、説明資料により御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第16号館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国の基準に合わせまして保育料及び入園料を改定し、教育環境の整備と幼稚園教育の振興を図ろうとするものでございます。改正の内容でございますが、保育料につきましては、1月につき現行4000円を4400円に、入園料につきましては、1回につき現行5000円を6000円にしようとするもので、経過措置といたしまして、5歳児の保育料につきましては61年度に限り据え置くものとし、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に議案第17号館山市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第18号館山市公民館条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、これらは、いずれも社会教育法に基づき、社会教育委員及び公民館運営審議会委員の構成が定められておりますが、組織及び運営の簡素合理化を図るため、社会教育委員につきましては、現行委員定数30人以内を15人以内に、公民館運営審議会の委員につきましては、現行委員定数15人以内を10人以内に減員しようとするものでございます。

次に、議案第19号館山市身体障害者結婚奨励金支給条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本市におきましては、身体障害者の更生と援助を図るため、昭和45年より身体障害者の結婚に対

しまして奨励金を支給してまいりましたが、近年の経済情勢等を考慮いたしまして、奨励金現行1万円を2万円に引き上げ、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第20号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、昭和59年10月1日から国民健康保険に退職者医療制度が設けられましたので、国民健康保険運営協議会の委員に同制度の関係者である被用者保険等保険者を代表する者1名を加えようとするものでございます。

また、国民健康保険の被保険者が出産した場合、助産費と育児手当金をそれぞれ支給しておりますが、助産費につきましては、現行10万円を13万円に引き上げ、育児手当金につきましては、これを廃止しようとするものでございます。これらにつきましては、今回、国の給付改善により、助産費の補助基準が13万円に改められましたので、本市も被保険者の負担の軽減を図るため、これにあわせて改正するとともに、育児手当金につきましては、県内各市の支給状況、近隣市町村が廃止の方向にあることなどを考慮いたしまして改正し、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第21号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、団員の報酬額につきまして、県内各市及び近隣町村との均衡等を考慮いたしまして、本年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第22号館山市農漁業後継者結婚奨励金支給条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、本市農漁業の振興に資する目的で、昭和45年より本市地域内における純農漁業後継者の結婚に対しまして奨励金を支給してまいりましたが、近年の経済情勢等を考慮いたしまして、奨励金現行1万円を2万円に引き上げ、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第23号館山市西長田農道、佐野農道及び神余頭首工災害復旧事業分担金徴収条例の制定についてでございますが、昨年2月19日から20日及び6月25日から26日にかけての豪雨により被災した市内西長田地区及び佐野地区農道並びに神余地区頭首工の機能回復を図

るため、その復旧工事を国の補助を受けて実施することに伴う受益者の負担について、新たに分担金徴収条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第24号館山市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国及び県の占用料、使用料等の額に準じまして、館山市道路占用料徴収条例、館山市都市公園条例及び館山市漁港管理条例を改正しようとするものでございます。

次に、議案第25号市道路線の認定及び廃止についてでございますが、道路法第28条、道路法施行規則第4条の2第3項及び第4項の規定により道路台帳を調整するため、市道の一括認定及び一括廃止をしようとするものでございます。

次に、議案第26号昭和60年度館山市一般会計補正予算（第5号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ3681万3000円を減額し、総額98億8742万2000円としようとするものでございます。

歳出予算の追加の主なものといたしましては、総務費につきまして、赤字地方バス路線4路線を維持するための補助金といたしまして386万7000円、民生費につきまして、社会福祉振興基金助成金で573万円、これは館山市社会福祉協議会が、社会福祉事業の振興と円滑な運営を行うため設置いたしました館山市社会福祉振興基金に対し、基金造りの醸成を図るため、助成しようとするものでございます。また、老人医療費の増高に伴う市負担分と、支払基金及び国、県負担金の追加交付が翌年度精算となることに伴い、一般会計で一時補てんするため、老人保健特別会計への繰出金6301万5000円、衛生費につきまして、濁水対策及び配水管布設替に係る経費が増加したため、三芳水道企業団負担金の追加といたしまして1162万5000円、農林水産業費につきまして、県営漁港の工事内容及び事業量の変更に伴う船形漁港修築工事負担金といたしまして393万円、教育費につきまして、国鉄バスの運賃値上げ及び対象生徒数の増加により、遠距離通学生徒通学費補助金といたしまして208万1000円、諸支出金につきまして、財政調整基金積立金1417万6000円、土地開発基金繰出金12万6000

円、これらは基金運用利子相当分を基金へ繰り出すものでございます。

歳出予算の減額の主なものといたしましては、総務費につきまして、3カ年継続事業で進めております防災行政無線整備事業の工事請負費及び設計監理委託料で1112万8000円、コミュニティセンター西側の造成工事請負費1850万円で、それぞれ入札残によるものでございます。民生費につきまして、心身障害者児医療費給付補助費で811万4000円、児童手当で400万円、これは医療費及び支給対象児童数がそれぞれ当初見込みを下回ったことによるものでございます。また、老人ホーム収容者の減少等により、老人ホーム収容措置補助費で563万3000円、保育所の臨時職員賃金で335万2000円、これは育児休業及び産休代替保母が少なかったこと等によるものでございます。衛生費につきまして、本年度廃止を予定しております館山市と畜場特別会計の精算に伴う繰出金で144万8000円、じん芥及びし尿処理関係経費の消耗品費、燃料費等で1321万円、農林水産業費につきまして、農道整備事業委託料で事業費の減によりまして818万2000円、県営漁港の工事内容及び事業量の変更に伴う事業費の減によりまして富崎漁港改修工事負担金で437万5000円、土木費につきまして、県道改良工事の事業費の減によりまして負担金で390万4000円、都市計画街路八幡高井線用地購入に伴う不動産鑑定及び物件調査等委託料で、実施箇所が減少したことによりまして136万7000円、八幡都市下水路ほか4下水路の工事請負費で入札残によりまして1050万円、那古下水路整備に係る用地購入費で250万8000円、これは工法の変更により購入面積が減少したことによるものでございます。また、館山運動公園整備事業で県単分事業費の減によりまして負担金で900万円、消防費につきまして、防火水槽建設ほか工事請負費及び消防自動車購入費の入札残で263万9000円、教育費につきまして、要保護及び準要保護の援助費で、支給対象児童及び生徒の減少によりまして219万9000円、博物館の展示模造品製作委託料で入札残によりまして137万6000円、災害復旧費につきまして、352万2000円、これは普通河川笹川ほか道路、河川災害復旧工事請負費の入札残によるものでございます。

以上が減額の主なものでございます。

この補正財源につきましては、国、県支出金、市債等で1億3290万7000円の減額でございますが、特別交付税を含め地方交付税、財産収入、使用料及び手数料等で9609万4000円の追加により充当しようとするものでございます。

このほかに、防災行政無線整備に係る工事請負費等の減額に伴う継続費の補正、館山港修築工事負担金で、県営事業として整備を進めております館山港修築工事につきまして、港湾関係者との調整のため着工が遅れたことによる繰越明許費の追加及び防災行政無線整備事業をはじめ13事業につきまして地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第27号昭和60年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）でございますが、歳入歳出それぞれ1億3386万6000円を追加し、総額26億698万5000円としようとするものでございます。歳出といたしまして、今後の受診医療費の増を見込み保険給付費で1億3776万円、また、基金運用利子相当分を基金へ繰り出すための財政調整基金積立金で49万6000円、歳入といたしまして、財政調整交付金等国庫支出金で1億102万9000円、その他補正財源といたしまして、退職被保険者等に係る国民健康保険税及び繰越金等をもって充てようとするものでございます。

次に、議案第28号昭和60年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出それぞれ1億66万8000円を追加し、総額22億250万3000円としようとするものでございます。歳出といたしまして、医療給付費で受給件数の増加が見込まれることによりまして1億504万9000円、歳入といたしまして、国庫支出金の減額を含め支払基金交付金等で4418万3000円、その他補正財源といたしまして、議案第26号で御説明いたしました一般会計からの繰入金6301万5000円をもって充てようとするものでございます。

次に、議案第29号昭和60年度館山市と畜場特別会計補正予算（第2号）でございますが、本年度廃止を予定いたしまして、精算に伴う諸経費の減5万6000円を補正し、歳入歳出それぞれ574万7000

円としようとするものでございます。

次に、議案第30号昭和60年度館山市学童災害共済事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、学童災害共済基金の積み立てを行うため18万6000円を追加し、歳入歳出それぞれ235万5000円としようとするものでございます。

次に、議案第31号昭和60年度館山市水道事業特別会計補正予算（第2号）でございますが、資本的収入といたしまして、水道加入者の減少による加入者分担金で1723万円を減額し、総額6803万7000円、また、資本的支出を2億7844万6000円減額し、総額1億5379万円にしようとするもので、その内容といたしましては、館野及び九重地区における拡張事業が年度内に着手できませんでしたので、この関連経費等で2億6797万円、また、県道舗装工事負担金で、館山白浜線佐野地先に係る舗装面積の減少によりまして1047万6000円をそれぞれ減額するものでございます。

次に、この際当面する諸問題につきまして報告申し上げます。

まず、道路交通網の整備でございますが、国道127号内房縦貫道路並びに国道410号は、21世紀に向けての市勢伸展のかなめであり、本年度建設が着手されます東京湾横断道路の完成に合わせた供用開始が緊要の課題でございます。また、国道127号館山バイパスにつきましては、すでに74%の用地買収、約860mの工事が完了しており、供用開始を待つに至っておりますが、これらの道路の早期完成を目指し、さらに整備促進を国、県に働きかけてまいる所存でございます。

次に、行政改革の推進についてでございますが、本市といたしましては、国に先がけ従来から事務事業の見直し、組織、機構の簡素合理化、定数管理の適正化、民間委託、事務のOA化等に鋭意取り組み、その効果をあげてまいりました。

しかし、地方公共団体を取り巻く情勢は依然として厳しく、このため、昨年、市内民間有識者及び市議会議員の皆さまの御協力を得て「館山市行政改革大綱」を策定したところでございますが、市政は常に改善、進歩があるべきであるという信念のもとに、引き続き努力を重ねてまいる所存でございます。

以上、私の所信とこの度提案いたしました案件の概要を説明いたしますとともに、当面の諸問題について報告いたしました。詳細につきましては、御質問に応じ、私又は事務担当者からお答えいたしたいと存じます。

なお、この会期中に追加議案といたしまして、館山市助役の選任について並びに館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について審議をお願いする予定でございます。

よろしく御審議くださるようお願い申し上げます。ありがとうございました。

○議長（流山源次郎君） 以上で施政方針並びに提案理由の説明を終わります。

延 会 午前 11 時 20 分

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明 3 月 2 日から 6 日まで議案調査のため休会、次会は 3 月 7 日午前 10 時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。行政一般質問の通告の締め切りは 3 月 4 日正午まででありますので、申し添えます。

○本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第 1 号乃至議案第 31 号

